

一般財団法人東京 2025 世界陸上財団  
第 4 回 理 事 会  
議 事 次 第

日時:2023 年 10 月 25 日(水) 16 時～

場所:JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室8

1 開 会

2 議 事

(1) 決議事項

- ・第1号議案 内部監査規程の制定について
- ・第2号議案 第三者審査委員会の委員選任について
- ・第3号議案 大会開催ビジョン及び大会メインカラーの策定について

(2) 報告事項

- ・インボイス制度開始に伴う対応について
- ・業務執行理事の職務執行状況の報告について
- ・その他

3 閉 会

# 内部監査規程の制定について

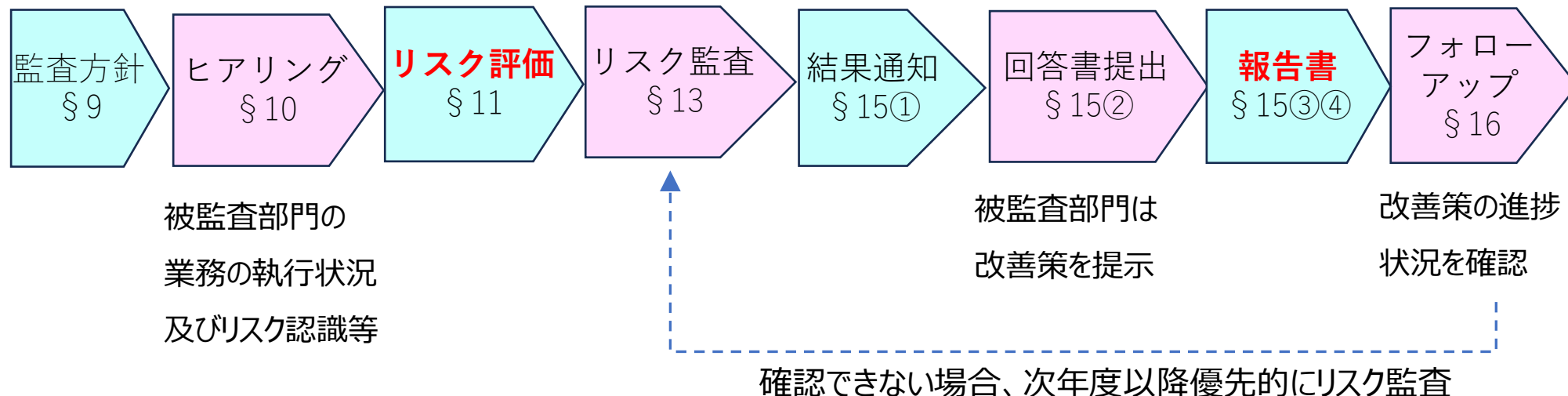
## 内部監査規程

財団内の監査を行う監査室の権限や遵守事項、被監査部門の対応が求められる事項を規定

### ★監査の主なポイント

- 対象範囲 : **職員の業務活動全般**に及ぶ
- リスク評価 : リスクの評価に際しては、**監事及び会計監査人と協議**
- 監査手法 : **リスクが高いと思われる事項を優先**して監査

### ★監査の流れ ( は被監査部門の対応が必要な項目、**赤字**は理事会に報告)

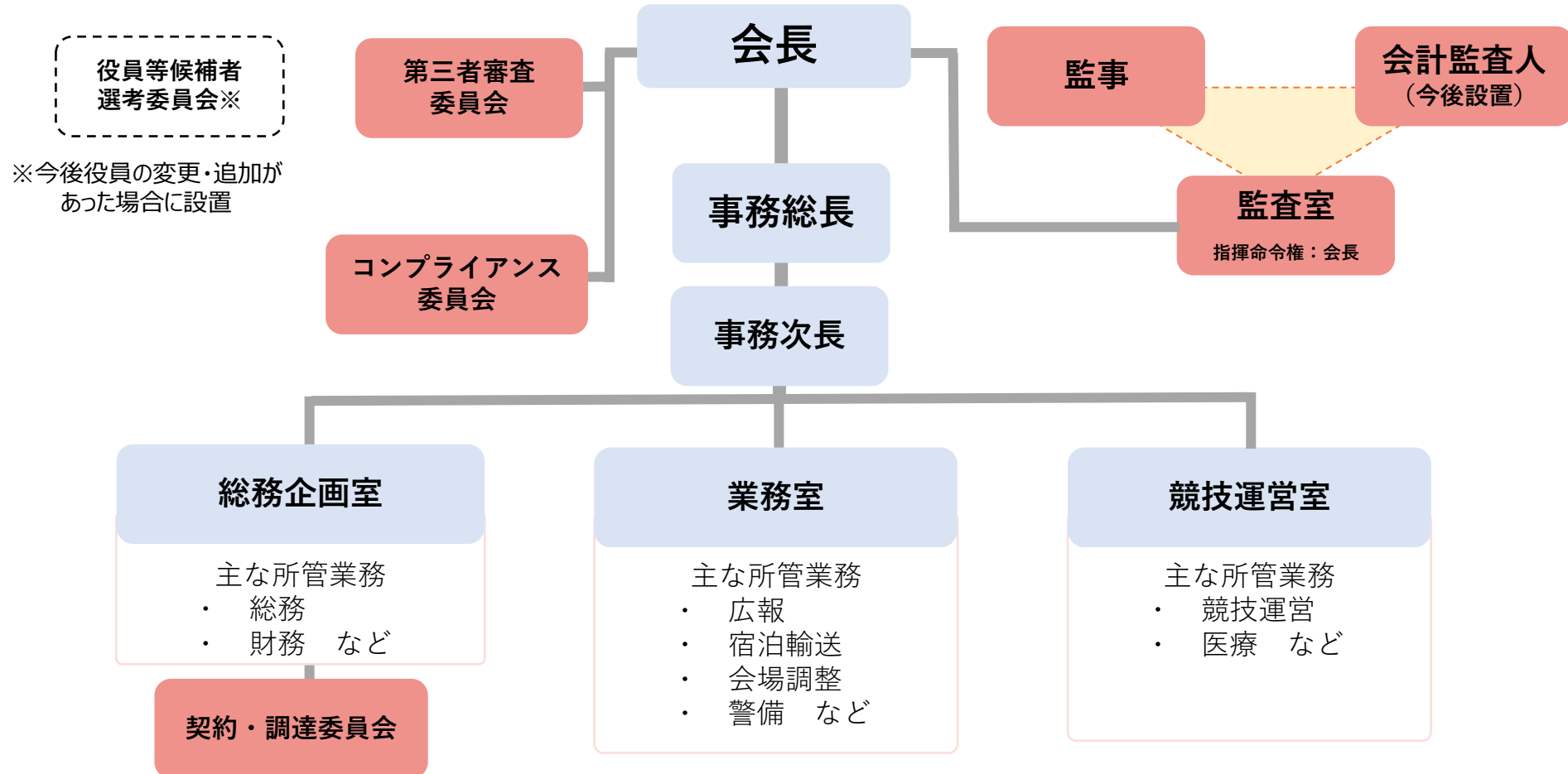


# 世界陸上財団のガバナンス確保について

参考：第1回理事会資料より

## ガバナンス体制図

- コンプライアンス委員会を設置し、財団内のコンプライアンスを推進
- 第三者審査委員会を設置し、ガバナンスに係る事案の適正性等を審査
- 監査室を中心に、監事・会計監査人と密に連携した三様監査体制を構築



# 第三者審査委員会の委員選任について

## 第三者審査委員会について

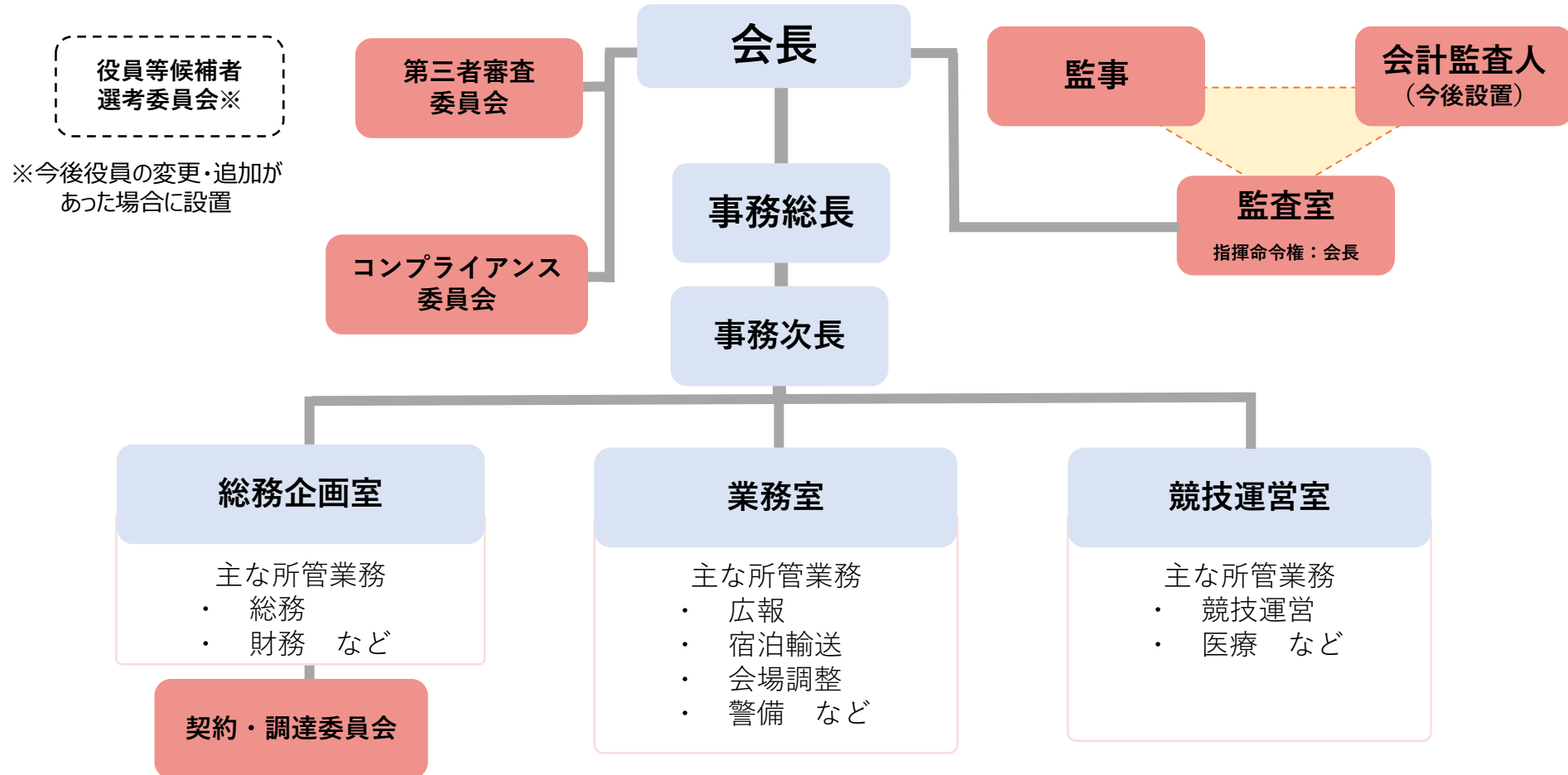
- 目的  
財団のガバナンスに係る事案の適正性等を第三者の立場から中立・公正に審査するために設置
- 主な役割  
「利益相反」「公益通報」「懲罰」「情報公開」等における手続きの中で、必要の都度、その適正性等を審査
- 委員構成  
委員長：ガバナンス担当理事（八木理事）  
委員：外部有識者4名（本理事会にて付議）  
（男性3名、女性2名）

# 世界陸上財団のガバナンス確保について

参考：第1回理事会資料より（再掲）

## ガバナンス体制図

- コンプライアンス委員会を設置し、財団内のコンプライアンスを推進
- 第三者審査委員会を設置し、ガバナンスに係る事案の適正性等を審査
- 監査室を中心に、監事・会計監査人と密に連携した三様監査体制を構築



# 第三者審査委員会の委員の選任

---



いけだ ようこ  
池田 陽子

〔属性〕

弁護士（明大昭平・法律事務所）

〔選任理由〕

弁護士として、国や地方自治体における公文書の管理や情報公開・個人情報保護に関する業務の経験が豊富であり、文書及び情報公開分野に関する専門知識と経験を有している。

〔現在の他団体就任状況（主なもの）〕

東京都公文書管理委員会委員、内閣府公文書管理委員会委員、  
公益財団法人鉄道弘済会理事



たじま じゅんいちろう  
田島 潤一郎

〔属性〕

弁護士（安西法律事務所）

〔選任理由〕

弁護士として、使用者側の立場での人事労務に関する法律相談対応・紛争解決業務の経験が豊富であり、ハラスメント問題・懲戒処分などに関する専門知識と経験を有している。

〔現在の他団体就任状況（主なもの）〕

経営法曹会議会員、日本労働法学会会員、第一東京弁護士会労働法制委員会委員、  
慶應義塾大学大学院法務研究科非常勤講師、株式会社スポーツフィールド社外監査役

# 第三者審査委員会の委員の選任

---



にしま とよた  
二島 豊太

〔属性〕

弁護士（光和総合法律事務所）

〔選任理由〕

弁護士として、東京都公益通報弁護士窓口の担当弁護士や企業の社外役員を務めるなど、コンプライアンス問題や企業活動に関する業務の経験が豊富であり、公益通報及び企業法務分野に関する専門知識と経験を有している。

〔現在の他団体就任状況（主なもの）〕

東京都公益通報弁護士窓口担当弁護士、第一東京弁護士会懲戒委員会委員長、法務省 入札・契約適正化調査委員会委員、ディップソール株式会社社外取締役



ねもと ひろし  
根本 博史

〔属性〕

公認会計士（クリフィックス税理士法人）

〔選任理由〕

公認会計士として、複数企業の役員や監査業務を務める中で、業務・財産の状況の調査や計算書類等の監査の業務の経験が豊富であり、財務及び会計分野に関する専門知識と経験を有している。

〔現在の他団体就任状況（主なもの）〕

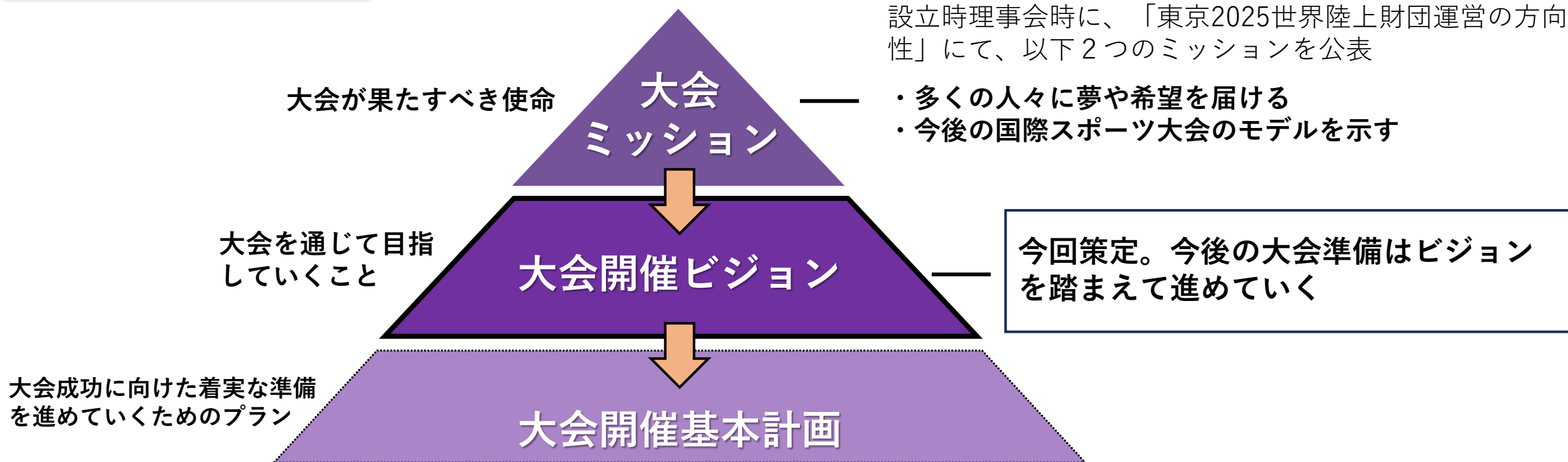
KISCO 株式会社監査役、株式会社マネーパートナーズグループ取締役（監査等委員）、株式会社構造計画研究所取締役

## 開催ビジョンとは

なぜ開催ビジョンを策定するのか？

開催ビジョンを策定することで、大会を通じて目指していくことを明らかにするとともに、大会成功に向けた着実な準備を進めていくための方向性を示し、関係者間で共有するために策定

## 開催ビジョンの位置づけ





# 大会開催ビジョン案

---

## 1. 東京ドリーム ～ドキドキ、ワクワク、みんなの笑顔が織りなす大会の実現～

- ・ アスリートセンタード、フェアネスの理念を前提として、満員の会場で大声援を受けたトップアスリートが己の限界に挑戦できる機会を提供することで、陸上の素晴らしさを発信し、感動・興奮を生み出します。
- ・ アスリートを中心にすべてのステークホルダーが主役として大会運営に参画し、誰もが東京大会を開催して良かった、楽しかったと思える大会、“東京ドリーム”を提供します。

## 2. 東京ブランド ～東京と世界を結び、東京らしさを発信～

- ・ 大会を通じて、国籍や文化などの垣根を越えて、世界中から様々な人が東京にあつまり、絆を深める中で東京と世界を結ぶきっかけを創出します。
- ・ おもてなしの心や安全・安心、食、芸術文化などの東京らしさや、先進的な科学技術、高度に発達した交通網など、活かに溢れた都市東京の魅力、“東京ブランド”を発信し、多くの人に体験してもらいます。

## 3. 東京モデル ～明日への希望と持続可能な未来へのステップ～

- ・ 世界最高峰の大会に直接触れることで、未来を担う子どもたちが夢や希望を育み、学び成長するとともに、みんながスポーツをより身近な存在として再発見することで、スポーツが持つ様々な価値を次の世代へ繋げていきます。
- ・ コンパクトで環境に配慮した持続可能な大会の実現や、フェアネスを体現した信頼される組織運営を通じて、未来に向けた国際スポーツの新しい世界標準、“東京モデル”を確立します。

# 大会メインカラーの策定について

## 大会メインカラーの必要性について

- ・ 色彩を用いた視覚的な訴求は、シンプルでわかりやすく、大会の**認知度向上・浸透につながりやすい**
  - ・ メインカラーを認知させることで、**一貫したイメージを国内外に伝えることが可能**
- ➡ **大会の統一した共通イメージを創出し、多くの人々に記憶してもらうことができる**

## 東京2025世界陸上 大会メインカラーについて

- ・ メインカラーとして「江戸紫」を採用
- ・ “東京らしさ”や“気品”を表現
- ・ 今後、ルックやWEBサイト等の基調色として使用



江戸紫（えどむらさき）

（参考）カラーコード

# 7 4 5 3 9 9

Red:116 Green:83

Blue:153

## 東京2025世界陸上 大会メインカラー選定の考え方について

- ・ 江戸で誕生した**伝統色**である「江戸紫」によって、“東京らしさ”や従来の大会とは一線を画す“東京ならではの大会”を表現
- ・ 「紫」は、国内外問わず、**古来より気品のある色として認知**されており、「江戸紫」によって、世界陸上の格式高さに調和した**上品なイメージ**を表現
- ・ また、「紫」は**多様性**や**包摂性**を象徴する色として用いられることもあり、開催ビジョンの考え方とも合致

### インボイス制度の概要

- インボイス（適格請求書）とは、売手が買手に対し正確な適用税率や消費税額を伝えるための請求書等で、従来の請求書等に登録番号や適用税率等の記載が追加されたもの
- インボイス制度が開始する2023年10月1日以降は、売手が発行するインボイスを買手が保存することが仕入税額控除（※）の要件となる。
  - ※ 仕入税額控除：消費税の納税額算出の際に、売上税額から仕入税額を差し引くこと
- 売手がインボイスを発行するには、インボイス発行事業者として、税務署に申請し登録することが必要

### 財団としての対応

- 財団がインボイス発行事業者の登録をしない場合、財団から課税仕入れを行う事業者は、当該仕入れについて仕入税額控除を全額行うことができず、消費税の負担額が増加することとなるため、こうした負担の発生を防ぐ観点からインボイス発行事業者の登録を行う。
- 制度が開始する2023年10月1日からインボイス発行事業者として登録するため、2023年9月27日付で税務署に登録申請

# 業務執行理事の職務執行状況の報告について (2023年7月4日～2023年10月25日)

○会長は、当財団を代表して業務を執行し、事務総長は会長を補佐するとともに、事務局の事務を統括した。

## 1. 理事会開催

以下のとおり、理事会を開催し、2023年度事業計画及び予算、必要な諸規程等を審議

- 7月4日（第1回）決議事項10件：副会長・事務総長の選定、各種規程類、2023年度事業計画及び予算（案）など
- 8月9日（第2回）決議事項4件：広告物掲出等業務契約、日本陸上競技連盟からの資金の受け入れなど・報告事項2件
- 9月8日（第3回）決議事項2件：会計監査人の設置に伴う監査室設置規程等の改正など
- 10月25日（第4回）決議事項3件：第三者審査委員会の委員選任、大会開催ビジョンの策定など・報告事項3件

## 2. 評議員会開催

以下のとおり、評議員会を開催し、役員等行動規範や懲罰規程等を審議

- 7月12日 決議事項2件：各種規程類、報酬額の決定・報告事項2件
- 8月25日 決議事項1件：日本陸上競技連盟からの資金の受け入れ
- 9月15日 決議事項2件：定款の変更及び評議員会運営規程の改正、会計監査人の選任

# 業務執行理事の職務執行状況の報告について (2023年7月4日～2023年10月25日)

---

## 3. ブダペスト大会参加

- ・ 8月19日～27日にハンガリー・ブダペストで行われた世界陸上競技選手権大会に参加
- ・ 東京2025世界陸上大会準備の加速化に向けて、競技会場や大会関連施設の視察を行ったほか、WA及び大会運営関係者へのヒアリングや意見交換などを実施

## 4. その他

- ・ 各部門の事業概要についてのヒアリングを行い、今後の業務の進め方や目標設定などについての議論を実施
- ・ 財団内における会議を適宜主催し、各部門の業務進捗状況や課題の把握を行うとともに、必要な対応を指示

# 業務執行理事の職務執行状況の報告について (2023年7月4日～2023年10月25日)

---

○コンプライアンス担当理事は、コンプライアンス委員会に関する以下の業務を処理した。

- ・ 第1回コンプライアンス委員会の開催

コンプライアンス委員会委員長として、2023年9月29日に第1回コンプライアンス委員会を開催

議事内容：コンプライアンス基本方針の策定について、令和5年度コンプライアンス推進計画の策定について、  
コンプライアンス研修（着任時）の実施について

○ガバナンス担当理事は、第三者審査委員会に関する以下の業務を処理した。

- ・ 第三者審査委員会委員候補の検討

第三者審査委員会委員長として、当委員会が審議する、利益相反・情報公開・公益通報・懲罰審査の  
知見を有する外部有識者4名（弁護士、公認会計士）の候補者を検討